

「つくる会」東京支部の皆様へ

平成19年12月27日

平成19年も波乱の内に幕を閉じようとしています。

思い返せば、今年は年明け早々から、「つくる会」の命運を左右する騒動に始まり幾多の障害を乗り越えて新しい「つくる会」の船出を迎えることができましたが政権交代と共に「沖縄集団自決」に関わる歴史の記述に於いて、文科省自らが政治圧力に屈して教科書検定制度を無にするという教育行政の破綻を招いてしまいました。

「つくる会」は藤岡会長の下、軍の命令も関与もなかったとして沖縄左翼とこれに賛同する福田首相や渡海文科大臣、マスコミに対抗して真実の歴史と検定意見を守り切るよう文科省を叱咤激励してきたのですが、私たちの努力も空しく、日本は底なしの泥沼に向けて取り返しのつかない一步を踏み出してしまった痛恨の平成19年です。

今年は食品偽装に明け暮れ、沖縄問題で遂に報道偽装、教育偽装、歴史偽装にまで至り、将に日本中が【偽】に覆われた日本転落の兆しがあきらかになった年でありました。今回、政治圧力やまやかしの集会で歴史が書き換えられた事で、日本は韓国や中国のような「学問としての歴史」が存在しえない前近代国家に貶められたのであり、その総ての責任は福田政権と文科省が負わねばなりません。これは左翼の巻き返しと保守の退潮という事ではなく、今のような形振り構わない左翼の陰謀は必ずや心ある国民からしっぺ返しを食い、いずれ行き詰まるのは時間の問題です。

誇りある日本の歴史を取り戻そうとする「つくる会」の運動にとっては、来年こそは正念場の年であります。【偽】が蔓延すればするほど国民はそのいかがわしさに気付き、【真】なるものに向かうでしょう。私たちはこの時にあって、決して倦むことなく、弛むこともなく、絶対に諦めない信念で【偽】に立ち向かい【真】の世界を広めなければなりません。

来年1月31日から2月2日の三日間に亘り、「つくる会」東京支部は〈偽装大国日本〉と銘打ったパネル展を開催しますが、そこでは日本を蝕む【食品偽装】、【教育偽装】、【歴史偽装】について徹底的に【偽】を暴き【真】なるものを提示し、国民の皆様の判断を仰ぐつもりです。

それに先立ち、1月3日靖国神社大鳥居前で午後1時から4時まで、パネル展の宣伝ビラを配布する広報活動を行いますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

「つくる会」東京支部は、来年も『倦まず、弛まず、諦めず』をモットーに頑張っていきます。会員の皆様の絶大なるご支持に深甚なる謝意を表しますとともに、良いお年をお迎え下さいますようお願い申し上げます。

「新しい歴史教科書をつくる会」東京支部  
支部長 島崎 隆  
広報担当副支部長 石原隆夫